

## 【事故報告①】

### 利用者の状況

年齢	91歳	性別	女	介護度	3
----	-----	----	---	-----	---

### 事故の概要

日時	平成30年6月14日（木） 午前7時20分				
場所	くぬぎ荘 Cユニット 本人居室				
事故の種別	骨折				
事故の内容	7時20分、本人居室から「ドン」という音がしたので職員が訪室。本人がフットボード側に左側を下にした状態で横たわっていた。外傷ないが、左大腿部の痛みを訴えた。体温36.2度、脈拍74、血圧152/102であった。 本人は、居室のポータブルトイレをきれいに掃除してくれた後なので使うのをためらい、居室前のトイレに車椅子で行こうと移乗しようとした時に転んだ、と述べた。				
事故発生時の対応・経過	医療機関名	緒方整形外科医院受診後、再春荘病院を紹介され受診・入院			
	7時30分	早出職員より看護職員へ事故状況を報告する。			
	8時10分	看護職員より家族へ電話で事故状況を説明する。			
	9時00分	緒方整形外科医院受診。左大腿部頸部骨折との診断。緒方整形外科医院では入院、手術はできないため、再春荘病院を紹介される。			
11時	再春荘病院受診。診断名：左大腿骨転子部骨折 で入院となる。				

### 事故発生後の対応

利用者の現在の状況	6月15日、「間歇的整復固定術」施行。術後は、ベッドサイドリハを開始する。約2週間程度でリハビリテーション専門病院へ転院の予定。その後くぬぎ荘利用予定（約2ヶ月程度の期間）				
家族への連絡・説明状況と内容	8時10分、看護職員より身元引受人（長女）に転倒の旨を連絡する。 9時15分、緒方整形外科医院搬送、待ち合わせた長女夫妻に、看護職員より経過説明を行う。 14時 入院に必要な日用品、お薬等を持参し本人・家族を見舞った。今後の治療計画を病棟の担当看護師から伺う。施設は再入居を待っているのので安心して治療に専念して下さい、と話した。				
再発防止に向けた対応策等	・ポータブルトイレ、車椅子の配置を検討。 ・本人のADLの状況の把握。 ・遠慮せず、ナースコールを使い職員を呼んで欲しいことを説明する。 ・トイレ誘導の声かけを行う。				

## 【事故報告②】

### 利用者の状況

年齢	95歳	性別	女	介護度	3
----	-----	----	---	-----	---

### 事故の概要

日時	平成30年7月3日（火） 午後6時20分				
場所	くぬぎ荘 Bユニット共同生活室				
事故の種別	誤薬				
事故の内容	夕食後、服薬介助した際に別の入居者の薬を間違え飲ませてしまった。薬袋に入居者の氏名を書いているが、服薬介助する際に確認が不足していた。				
事故発生時の対応・経過	医療機関名	受診の必要性がないと判断し受診せず。			
	看護師にて処方内容を確認（処方内容）	・酸化マグネシウム錠 250mg：便通を良くする薬			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウルソデオキシコール酸錠 100 mg : 肝臓の働きを改善する薬</li> </ul> <p>様子観察を行う。夜間帯から本日もご本人に変化はなく普段と変わらない様子で過ごされている。</p> <p>嘱託医（合志第一病院）にも状況を報告し、様子を見るようにとの指示が出る。</p>
--	--

#### 事故発生後の対応

利用者の現在の状況	睡眠状態も普段と特に変わりなく、朝食も普段通り全量摂取される。バイタルも変化なし。いつもとお変わりなく過ごされている。
家族への連絡・説明状況と内容	4日の朝、看護職員より身元引受人（長女）に誤薬の旨を連絡し、謝罪する。
再発防止に向けた対応策等	薬袋の入居者名の確認を徹底する。

### 【事故連絡書③】

#### 利用者の状況

年齢	88 歳	性別	女	介護度	5
----	------	----	---	-----	---

#### 事故の概要

日時	平成 30 年 10 月 1 日（月） 17 時 05 分				
場所	くぬぎ荘 Cユニット 本人の居室				
事故の種別	転倒				
事故の内容	居室より大きな物音がしたため、訪室すると A 氏がベッド横の床に右側臥位の状態で横たわっていた。手にメガネを握っていた。16 時頃から A 氏の機嫌が悪く、居室のドアを閉めていた。右眉の上部に 3×4 cm の腫れと右眼じりに 1 cm の切り傷あり。バイタルは本人の興奮強く測定できず。 居室の扉を閉めていたため、転倒の場面を職員は見えていないが、床に落ちた眼鏡を拾おうとして車椅子から転倒したと思われる。				
事故発生時の対応・経過	医療機関名	合志第一病院			
	(10 月 1 日) 発見直後に痛みと外傷の確認を行う。興奮強く、バイタル測定はできなかった。腫れの部分はクーリング、切り傷にはゲンタシン軟膏と絆創膏で保護する。 (10 月 2 日) 9 時 30 分 合志第一病院受診。CT 検査の結果、脳に異常はないとのこと。				

#### 事故発生後の対応

利用者の現在の状況	特に普段とお変わりなく穏やかに過ごされている。時々笑顔も見られ、食欲もあり、全量摂取されている。
家族への連絡・説明状況と内容	(10 月 1 日) 17 時 30 分 長男嫁に相談員より事故の状況を説明し、謝罪する。 19 時 00 分 長女来所。再度、事故の報告と謝罪を行う。 (10 月 1 日) 10 時 30 分 CT 検査の結果を家族へ説明する。
再発防止に向けた対応策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな訪室、見守り。</li> <li>・車椅子上での姿勢を整える。</li> <li>・環境整備</li> </ul>